

神田駿河台地域まちづくり協議会

第39回協議会 議事要旨

日 時：令和2年2月14日（金） 18:00～19:30

場 所：三井住友海上駿河台新館ビル 3階 カンファレンスルーム 3F

出席者：駿河台東部町会・神田猿樂町町会・小川町三丁目西町会・小川町北三町会・小川町三丁目南部町会・お茶の水茗溪通り会・明治大学・日本出版販売(株)・三井住友海上火災保険(株)・服部学園・日本ハリストス正教会・東日本旅客鉄道(株)・井上眼科病院

1. 前回の議事要旨の確認

【委 員】 特に異議なし。

2. JR 御茶ノ水駅の整備工事について(報告事項)

○JR 東日本東京工事事務所より報告

《御茶ノ水駅改良工事の状況と今後の予定》

- ・昨年1月に各ホームからのエレベーター、エスカレーター整備が完了し、人工地盤をコンコースとして使用開始。
- ・昨年3月末～4月に各ホームからコンコースに上がる新たな階段を整備。
- ・現在は、仮改札やコンコースのトイレ、お茶の水橋口への階段を施工している。
- ・今後、本年3月29日朝より、聖橋口改札を茗溪通り側の仮改札に移転し、聖橋口は閉鎖する予定。その後、聖橋口側の整備に移る。
- ・聖橋口駅前広場の開業は2023年度を予定。

【委 員】 茗溪通り側に仮改札ができるということだが、歩道幅も狭く危険であるので、できれば茗溪通りを歩行者専用道路にしてほしい。以前にも検討している瀬川ビルの周囲の道路で店舗の荷捌きをする形を提案したい。

【 区 】 以前、当協議会で駿河台地域の基本構想を作成し、駅のバリアフリー化や駅前広場機能の整備とともに、茗溪通りの歩行者専用道路化を検討してきた。その議論の中で、歩行者専用道路化による周辺交通への懸念もあるということで、一旦は茗溪通りの修景整備だけを進めてきた。

前回の議論から約10年が経ち、皆様から歩行者専用道路化について、もう一度検討してみようということであれば、ご意向に沿っていきたい。

【委 員】 仮改札が、将来的には搬出入車両の荷捌き場所になるというが、基本的には、茗溪通り会としては反対である。

【委 員】 ホームドアはいつ頃、整備されるのか。

【J R】 仮改札部の将来の計画では、荷捌きスペースだけではなく、2階の店舗等への入口となり、聖橋口駅前広場への経路としても利用できる。

ホームドアの施工については、駅改良工事と同時期に進めることで検討を行い、社内の整理を進めているところである。

【委 員】 仮改札に移った後も、歩行者の安全性などを、常にチェックをしていただき、より良い方向にもっていくという姿勢で整備を進めてほしい。

3. 明大通りの整備について(報告事項)

○区道路公園課より報告

《明大通り沿道協議会設置について》

- ・前回の当協議会で、明大通りの樹木の扱いについて整理するための沿道協議会を設置し、樹種も含め検討することについて了承いただいた。
- ・本年1月に第1回の沿道協議会を開催。今後の検討事項を共通の認識とした。
- ・今後は、2か月に1、2回程度協議会を開催する予定。

【委員】 検討事項にある「場所ごとに即した歩道拡幅」とはどういうことか。

【区】 歩道拡幅後の樹木の位置について、そのままその場に残してほしいという意見や、歩行空間を拡幅するために車道側にずらす必要があるといった意見もある。今後、場所ごとに、協議会の中で検討を行い、整理をするという趣旨である。

4. お茶の水橋の整備について(報告事項)

○区道路公園課より報告

- ・お茶の水橋の改修について、当初は平成31年度末で工事が完成する予定であったが、以下の3点の理由から、5年間工期が伸びることとなった。
- ① 既存の塗装材にPCBが含まれており、新たに法令に沿った処理が必要となり時間がかかった。
- ② 撤去等を開始したところ、既存の橋梁が完成図面どおりの構造になっていないことが判明。床板強度の再計算等、設計の大幅な変更が必要となった。
- ③ 構造が違ったことにより、床版等の撤去方法が変更となり、当初は施工時間に制約がなかったが、JRの線路への影響を考慮する必要が発生し、機電停止後の2時間しか作業ができなくなったことにより、大幅に施工期間が伸びることとなった。
- ・床版の撤去を行ったところ、過去に通っていた都電のレールや敷石が出てきた。現地に残すことは難しいが、何らかの形で保存することを検討している。

【委員】 レール・敷石は、ぜひなんらかの形で残していただきたい。

5. その他

○中央大学より報告

《駿河台記念館の建替計画》

- ・記念館は完成から約30年経過。都心における教育研究事業拡充を進めるため建替。
- ・新校舎は2023年4月の開校予定。
- ・専門職大学院であるロースクール、ビジネススクール及び卒業生向けの都心拠点としての機能を計画。
- ・建物規模は、延べ床面積約15,500㎡、高さ95m、地上18階、地下1階。
- ・工事については、施工業者が決定したところで、近隣の皆様にお知らせする。

【区】 学生数はどの程度か。

【中央大】 ロースクールが約600名、ビジネススクールが約200名の約800名予定。

○茗溪通りの歩行者専用道路化の検討について

【座 長】 本日、茗溪通りの歩行者専用道路化についての再検討の提案があったが、これについて何か意見等があるか。

【 区 】 お茶の水茗溪通り会としては、歩行者専用道路化に全員一致で賛成とのことではよいのか。

【委 員】 それについては、もう一度、茗溪通り会として確認する。前回の議論の際は、理事は全員一致であった。最近はチェーン店も多くなってきており、商店街としてまとめるのが大変である。

【座 長】 歩行者専用道路化については、前回は実現には至らなかったが、約 10 年が経ち、様々なまちの機能更新も進み、神田駿河台地域も変わってきている。世界的に見ても、自動車優先から歩行者優先の流れとなっていることから、この件については、協議会の検討事項（課題）としていくことでよいか。

【委 員】 異議なし

— 終了 —